

令和2年度 大阪市立阿倍野防災センター事業報告書

施設概要

施設名	大阪市立阿倍野防災センター
所在地	大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目13番23号
団体名	一般財団法人大阪消防振興協会、ノムラテクノ株式会社大阪支店、ジェイ・アクシス株式会社共同事業体
代表者指定管理者	一般財団法人大阪消防振興協会
代表者	一般財団法人大阪消防振興協会 理事長 藤井 茂樹
主たる事務所の所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号

1 指定管理業務の実施状況

(1) 管理運営方針

阿倍野防災センター事業は、市民や企業の防災担当者等に災害時に必要な知識と技術を提供し、災害による被害の軽減につなげることが目的であり、共同事業体のそれぞれの専門性とノウハウのすべてを結集し、消防局が運営方針に掲げる市民が安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現に向け、ともに取り組むことを方針としています。

(2) 職員の配置状況

ア (一財)大阪消防振興協会

体験学習・研修訓練・企画広報・施設管理を効率的に運営できる職員を下記のとおり配置しています。

(ア) 防災センター長 (協会職員)	1 名
(イ) 防災センター長代理 (協会職員)	1 名
(ウ) 管理担当 (協会職員)	1 名
(エ) 防災学習担当 (協会職員)	1 名
(オ) 防災研修担当 (協会職員)	1 名

イ ノムラテクノ(株)大阪支店

展示設備の定期保守点検や故障等の不具合発生時に、設備機器専門スタッフのうち必要人員を派遣し対応しています。

ウ ジェイ・アクシス(株)

アテンド・スタッフを常時7名の配置で、受付・案内・電話業務を対応しています。

(3) 施設管理状況

ア 建物管理

建物施設及び防災センター周辺の維持管理については、年度協定書に基づき適正に管理しました。

イ 体験施設管理

年度協定書に基づく定期点検及び日常点検を実施しましたが、重大な不具合等はありませんでした。

ウ 関係機関との連携

- ・ 複合施設あべのフォルサ全体の施設管理として、4局会議、事務担当者会議等を開催
- ・ 施設管理等の連携及び防火・防災対策として実施した自衛消防訓練 [令和2年11月19日(木)及び令和3年3月23日(火)] において、防災活動の専門家として指導、アドバイスを実施しました。
- ・ 3局合同で毎月1回庁舎周辺の清掃活動を実施し、環境改善による職場づくりまちづくりに努めました。
- ・ 防災関係機関(海上保安庁・自衛隊・気象庁等)とのネットワークを構築し連携強化に努めました。

2 新型コロナウイルス感染対策

新型コロナウイルス感染対策として、次のとおり対策しました。

(1) 防災体験学習エリア

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況及び政府、大阪府・大阪市の方針により学習エリアの展示場及びコース内容、所要時間、人数等に一部制限を設けて実施しました。

(2) 防災研修訓練エリア

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況及び政府、大阪府・大阪市の方針により対策を行い防災研修室等の貸し出しを実施しました。

3-1 利用状況

- (1) 開館日数 255 日 (内臨時開館 4日間)
- (2) 休館日数 110 日
- (3) 来館者数 10,488 人

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)
4	0	0
5	41	9
6	508	25
7	684	25
8	1,296	28
9	1,006	24
10	995	26
11	2,188	25
12	562	23
1	662	22
2	904	23
3	1,642	25
計	10,488	255

一日の稼働時間 8時間

延べ稼働時間 2,040時間

一日平均利用者 42人

一時間平均利用者 5人

*新型コロナウイルス感染症対策で、日々の感染状況等による政府、大阪府、大阪市の方針等により予約受付の見合わせや予約の取り消し等、またコース内容、所要時間、人数等に一部制限を設けたことで大幅な来場者数の減少となった。

3-2 防災研修ゾーン利用状況

- (1) 開場日数 280 日
 (2) 来場者数 18,894 人

防災研修ゾーン月別来場者数

月	来場者数(人)	開場日数(日)
4	318	4
5	0	0
6	1,312	29
7	1,825	31
8	1,833	30
9	1,588	26
10	1,957	28
11	2,166	31
12	1,759	24
1	1,626	23
2	2,019	27
3	2,048	27
計	18,451	280

甲種防火管理新規講習	6,362人
防火・防災新規講習	5,433人
教育担当者講習	0人
自衛消防業務新規講習	3,566人
自衛消防業務再講習	1,188人
普通救命講習	259人
イベント等	145人
消防局事業	126人
使用許可に係る研修会等	1372人

*新型コロナウイルス感染症対策で、日々の感染状況等による政府、大阪府大阪市の方針等により受講人数に制限を設けたことで大幅な来場者数の減少となった。

4 成果指標の達成状況

大阪市立阿倍野防災センター管理業務基本協定書第3条に基づく成果指標の達成状況については、次のとおりでした。

成果指標	達成度
防災体験学習エリア及び研修訓練エリア体験者のうち、「助かる力、助ける力が身に付くような知識技術を習得することができた」と答えて体験者の割合を全体の80%以上に保つこと	91% *アンケート回答者数1,322人のうち『思う、やや思う』と答えた人数1,206人

新型コロナウイルス感染症対策により、コース内容、所要時間、人数等の一部制限を設けたことで『減災を学ぶ』『消火を学ぶ』『煙を学ぶ』『避難支援を学ぶ』『救助を学ぶ』『備えを学ぶ』『救護を学ぶ』などの学習エリアが閉鎖となり、実際に来館者が体験して学ぶ場が少なくなった。

5 実施事業・自主事業

(1) 主なイベントの開催

ア 「シルバーエイジ・ファイヤーイベント」

高齢化社会に入り、独居高齢者世帯が増える中で火災や自然災害等から身を守るための普及啓発イベントを開催

令和2年9月17日(木)～令和2年9月22日(火)の6日間 参加者数 296人

「防災クイズチャレンジ」「キッズ&ユース・ファイアーイベント」「ガソリンの怖さ・スプレー缶の怖さを体験しよう!」「防火・防災かたりべの会」「パパ・ママ応急手当教室」については、新型コロナ感染状況等により今年度の開催を見送りました。

(2) 防災特別展等の開催

ア 「令和2年度夏休み特別展」

将来の地域防災を担う人材の育成を図るため、夏休み期間中に小中学生を対象に防災イベントを開催

令和2年8月8日(土)～令和2年8月24日(月)の17日間 参加者数 788人

イ 「令和2年防災週間特別展」

9月1日の「防災の日」を中心とした防災週間に合わせて、近い将来発生が予想される南海トラフ巨大地震等に備えて、防災意識の向上を図ることを目的に開催

令和2年8月30日(日)～令和2年9月5日(土)の7日間 参加者数209名

ウ 「防災とボランティア週間」

市民の自主防災意識の向上及び防災ボランティア活動の普及啓発を目的に開催

令和3年1月15日(金)～令和3年1月21日(木)の6日間 参加者数 141人

エ 「防災に係る特別展」

「東日本大震災」から10年目の節目にあたり、災害を風化させず、災害の教訓を生かし、市民の防災意識の向上を図ることを目的に開催

令和3年2月21日(日)～令和3年3月21日(日)の24日間 参加者数 1,519人

(3) ホームページでのVR体験

あべのタスカルの3Dビューを作製しホームページ上に公開、自宅や職場等からでも、あべのタスカルをVR(バーチャルリアリティ)で体感できるようにした。

(4) 報道機関等からの取材対応

各報道機関への取材協力

5件

情報誌への協力

1件

6 収支決算状況

(単位：円)

収 入 合 計 (A)		85,420,469
項 目	業 務 委 託 収 入	84,902,455
	自主事業1収入(防災用品販売手数料)	81,094
	自主事業2収入(自動販売機手数料)	436,920
支 出 合 計 (B)		78,048,355
項 目	人 件 費	48,749,497
	物 件 費	29,298,858
	水 道 光 熱 費	6,760,216
	賃 借 料	0
	通 信 費	717,553
	消 耗 品 費	1,312,716
	広 告 宣 伝 費	0
	外 注 費	11,184,467
	設 備 ・ 備 品 費	109,340
	そ の 他	9,214,566
	自主事業1支出(イベント経費)	0

7 その他

(1) サービスの向上

- ア 夏休み等来館者が多数見込まれる期間に臨時開館を行い、来館者のニーズに対応しました。(2日)
- イ 74言語に対応できる携帯通訳機を導入しています。
- ウ 映像シアターの多言語化(英語・中国語・韓国語)を図り対応しました。
- エ ご意見箱を設置し、市民の意見・要望等を受け、サービスの向上に努めています。
- オ 指導員全員が、防災士等の資格を取得し市民からの質問等に対応しています。

(2) 管理経費の節減

来館者の状況により、照明器具や空調機のこまめな電源オフに努め、消費電力の節約に努めました。

(3) 施設内安全管理及び衛生管理の向上

- ア 「応急救護コーナー」で使用するネクタイ、タオル等を定期的に洗濯、消毒し、清潔保持に努めています
- イ 手指消毒液(容器)を随所に設置しています。
- ウ 来館者の入館に際しては、チェックリスト記入と体温計測及び手指消毒を実施しました。
- エ 不審者侵入時のマニュアルを作成し定期的に訓練を行いました。
- オ あべのタスカル内での急病人発生時の対応のため血圧計等の機器購入と対応マニュアルを作成し定期的に対応訓練を行いました。

(4) 利用者からの苦情・意見等

特記事項なし

(5) 研修実績

- ア 人権研修・接遇研修
外部講師による研修を受講しました。
なお、アテンダントなど未受講者へは防災センター長が教養を実施しました。
- イ 教養研修
国内での災害発生時には、防災情報の共有化を図りました。
手話教室を定期的開催し、聴覚障がい者へのスムーズな対応が図れるように努めました。
- ウ コンプライアンス研修
防災センター長が必要に応じて実施しました。

(6) モニタリングの実施状況

ア コース体験後のアンケートの実施

- ・ コース体験者の満足度等の把握
- ・ 質問事項に対する回答を館内のお知らせ板に掲示

(7) 個人情報保護への取組状況等

ア (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程の遵守

イ (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程取扱要綱に基づく事務処理の徹底

ウ 申込書等の個人情報については、事務室の施錠保管庫に適切に保管

エ その他

- ・ (一財)大阪消防振興協会コンプライアンス規程及び要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財)大阪消防振興協会内部通報に関する要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財)大阪消防振興協会インターネット及び電子メール適正使用に関する要綱等の制定(平成25年10月1日)

(8) その他の事項

ア 体験記録カードの発行

来館者の利用促進策として体験記録カードを発行し、来館時にもらえるスタンプが5個たまれば記念品を贈呈しました。(令和2年度 1名)

イ 小冊子「地震に備えて」の点訳本を視覚障がい者用に10冊作成し、貸し出しを行っています。

上記のとおり報告します。

指定管理者	所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号
	商号または名称	一般財団法人大阪消防振興協会
	代表者氏名	理事長 藤井 茂樹

	所在地	大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
	商号または名称	ノムラテクノ株式会社大阪支店
	代表者氏名	支店長 秋月 忍

	所在地	愛知県あま市七宝町川部出屋敷69番地
	商号または名称	ジェイ・アクシス株式会社
	代表者氏名	代表取締役 赤羽 徹